

【世界自閉症啓発デー・大臣メッセージ】

第4回世界自閉症啓発デー（4月2日）に寄せて

東北地方太平洋沖地震により被災された皆様方に、心からのお見舞いを申し上げます。国民の皆様には、被災地に向けて多くの御支援をいただいていることに対して、心から感謝を申し上げます。

現在も被災地では多くの住民が避難所での生活を強いられ、不安な日々を過ごされている状況にあります。その中には、自閉症をはじめとする発達障害のある方も含まれ、生活環境の変化への対応などの面で、より困難で厳しい環境におかれています。このため、厚生労働省においては、被災地自治体や関係団体と連携して状況の把握に努めるとともに、被災地のニーズを踏まえて、支援者の派遣や援護の必要な方の施設等への受入れを進めています。また、発達障害のある方の避難所等での支援の方法に関する情報を随時提供し、活用をお願いしているところです。

今後の被災地の復興に向けて、多くの課題を一つずつ解決すべく、厚生労働省としても全力を尽くしてまいります。

あわせて、自閉症をはじめとした障害のある方への支援について、これまでの関係者のご努力に敬意を表すとともに、周囲の方々に、御理解と温かいご配慮を改めてお願いいたします。

本日4月2日は第4回世界自閉症啓発デーです。また、本日から8日までは発達障害啓発週間です。

自閉症をはじめとする発達障害は、脳機能の発達が関係する生まれつきの障害です。その行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありませんが、それが、親のしつけや教育の問題ではなく、そうした脳機能の障害によるものだと理解すれば、周囲の人の接し方も変わってくると考えられます。

平成20年から始まった、この「世界自閉症啓発デー」を契機として、自閉症をはじめとする発達障害の正しい理解を更に広げていくきっかけとしたいと考えています。

厚生労働省としても、当事者の声をしっかりと聞きながら、発達障害のある方々がそれぞれの力を発揮できる社会の実現に全力で取り組んでまいりますので、国民の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

平成23年 4月 2日

厚生労働大臣 細川 律夫

※ 発達障害啓発週間（4月2日～4月8日）については、世界自閉症啓発デーの制定を踏まえ、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会による決定事項であり、日本独自の取り組み。

※ 世界自閉症啓発デー2011・シンポジウムについては、実行委員会内の話し合いにより延期することに決定。